

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

つらいのどの痛み・熱・せき・鼻みずに

パブロンLX錠

販売名：パブロンLX錠
要指導医薬品 (かぜ薬)

◆パブロンLX錠は、ロキソプロフェンナトリウム水和物、L-カルボシステインなど4つの有効成分を配合したかぜ薬です。のどの痛み、発熱など、つらいかぜの11症状に効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- (4) 医療機関で次の治療を受けている人。
胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病
- (5) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常(血液の病気)を指摘されている人。

(6) 出産予定日12週以内の妊婦。

2 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気等があらわれることがあります)

4 服用前後は飲酒しないでください

5 5日間を超えて服用しないでください



相談すること

1 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。
肝臓病、緑内障、気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかかったことがある人。
胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気

2 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、過度の体温低下、虚脱(力が出ない)、四肢冷却(手足が冷たい)等の症状があらわれた場合。
- (2) 服用後、消化性潰瘍、むくみがあらわれた場合。
また、まれに消化管出血(血を吐く、吐き気・嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる)、消化管穿孔(消化管に穴があくこと、吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる)、小腸・大腸の狭窄・閉塞(吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる)の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。
- (3) 服用後、次の症状があらわれた場合。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 多形紅斑、急性汎発性 発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。
うっ血性心不全	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
心筋梗塞*	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害*	意識の低下、消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。

(裏面にづく)

横紋筋融解症

手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。


③ 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

口のかわき、便秘、下痢、眠気

④ 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください
(特に熱が3日以上続いたり、また熱が反復したりするとき)

用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に水又はぬるま湯で服用してください。

年齢	1回量	服用回数
15才以上	2錠 	1日3回
15才未満	服用しないこと	

【注意】

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

〈錠剤の取り出し図〉

おしだす ↓



効能

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、せき、たん、鼻みず、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

のどの痛み・
発熱などに



せき・たんに



くしゃみ・
鼻みず・
鼻づまりに



成分

2錠中

ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg 発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
(無水物として60mg)

レカルボシステイン 250mg 気道粘液・粘膜を正常な状態に近づけます。

チペビジンヒベンズ酸塩 25mg せき中枢に作用し、せきをしずめます。

メキタジン 1.33mg くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
(6錠中4mg)

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、リン酸水素Ca、三酸化鉄、セルロース、ステアリン酸Mg

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は6ヵ月以内に服用してください。(品質保持のため)



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室

電話 03-3985-1800

受付時間 8:30～17:00(土、日、祝日を除く)

※受付時間の詳細は、大正製薬ホームページにてご確認ください



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3丁目24番1号

<https://brand.taisho.co.jp/pabron/>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)